

Keitaro Harada Produce

ザ・シンフォニーホール

ジルベスター コンサート 2025

指揮
原田慶太楼

オフエンバック：喜歌劇「天国と地獄」序曲より“カンカン”
ロジャース：「サウンド・オブ・ミュージック」メドレー
マスカーニ：歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より間奏曲
ピアソラ：リベルタンゴ
ピアソラ：ブエノスアイレスの四季 ※
ジョン・ウィリアムズ：レイダース・マーチ
シュトラウスⅡ：ホルカ「雷鳴と稲妻」
シュトラウスⅡ：新ピチカート・ホルカ
シュトラウスⅡ：ワルツ「美しく青きドナウ」
シュトラウスⅡ：喜歌劇「ジプシー男爵」序曲
サラサーテ：ツイゴイネルワイゼン ※

ヴァイオリン

服部百音 ※



〔管弦楽〕日本センチュリー交響楽団

2025 **12.31** (水) 15:00開演 (14:00開場)

ザ・シンフォニーホール

主催：ザ・シンフォニーホール

S 11,000円 A 9,000円 B 7,000円 (全席指定・税込)

〈ご予約・お問合せ〉ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (火曜定休) <https://www.symphonycity.jp>

プレイガイド

- e+ (イープラス) <https://eplus.jp/symphonycity> (パソコン・携帯)
- ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonycity> [Lコード: 52367]
- チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonycity/> [Pコード: 301-703]

公演の
詳細については
こちら▶▶▶



ジルベスターコンサート2025 &
ニューイヤーコンサート2026

スペシャルセット券

22,000円 (税込)

2公演を同じお席でお楽しみ
いただけるスペシャルセット券
もございます。詳しくは専用
サイトでご確認ください。



※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。※やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。
※公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。予めご了承ください。

スペシャルセット券は、ザ・シンフォニー チケットセンターでのみ
お取り扱いします。他のプレイガイドでの販売はございません。

Keitaro Harada Produce

ザ・シンフォニーホール ジルベスターコンサート 2025

2025年大晦日! 大阪の夜を華やかに彩る《ジルベスターコンサート》で忘れられない年越しを迎えませんか?! 今年のジルベスターはソリストに服部百音さんをお迎えして、クラシックから映画音楽、そして情熱的なタンゴまで、心躍るプログラムでお届けします。

幕開けの「天国と地獄」で会場は一瞬にして華やかなパリの夜に! 希望に満ちた「サウンド・オブ・ミュージック」の響き、「カヴァレリア・ルスティカーナ」は穏やかで美しい旋律が心に深く染み渡ります。前半のハイライトはタンゴの巨匠ピアソラの世界! 哀愁と情熱が入り混じる「リベルタンゴ」、ピアソラが描いたブエノスアイレスの情景が目の前に広がる「ブエノスアイレスの四季」では、服部百音さんのソロがこの情熱的な世界をさらに深く鮮やかに描き出すことでしょう。

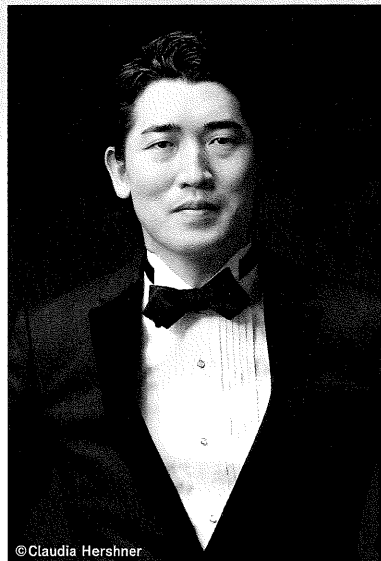
後半は心躍る映画音楽とウィーンの香り高きシュトラウスの世界です。誰もが知る名曲「美しく青きドナウ」の優雅なワルツに身を委ねた後、フィナーレを飾るのは「ツィゴイネルワイゼン」! 服部百音さんのヴァイオリンが、哀愁と情熱、そして超絶技巧で聴衆を圧倒することでしょう。

この一夜限りの特別なコンサートで2025年のフィナーレを盛大に祝いましょう! ご家族や友人と、あるいは大切な人と、忘れられない感動と興奮に満ちた時間をお過ごしください。 原田慶太楼

[指揮] 原田慶太楼 Keitaro Harada, conductor

東京交響楽団正指揮者、愛知室内オーケストラ首席客演指揮者兼アーティストック・パートナー、アメリカでは2020年シーズンからジョージア州サヴァンナ・フィルハーモニック音楽&芸術監督を務め、さらに2025年7月からオハイオ州デイトン・フィルハーモニック管弦楽団とデイトン・オペラ&バレエの音楽・芸術監督にも就任した、国際的に目覚ましい活躍を続ける期待の俊英。シンシナティ交響楽団&ポップス、アリゾナ・オペラ、リッチモンド交響楽団のアソシエイト・コンダクターとして、またジェームズ・レヴァインやロリン・マゼールのアシスタントとしてキャリアを積みながら、ヒューストン、フェニックス、N響、読響等のオーケストラはもちろん、ノースカロライナ、シンシナティ、ブルガリア国立歌劇場などオペラの世界でも実績を重ね、最近では2024年のNISSAY OPERAドニゼッティ「連隊の娘」や2025年デイトン・オペラでのヴェルディ「アイーダ」で舞台を力強く牽引しオペラ指揮者としての資質を感じさせた。2010年タングルウッド音楽祭で小澤征爾フェロー賞、米国ショルティ財団のキャリア支援賞6度と2023年には日本人で初めてトップのコンダクター賞を受賞。2009年キャッツボルトン・フェスティバルにロリン・マゼールから、2011年PMFにはファビオ・ルイジから招待を受けて参加。第29回渡邊暁雄音楽基金音楽賞、第20回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。

オフィシャル・ホームページ: kharada.com/ @KHconductor



©Claudia Hershner

[ヴァイオリン] 服部百音 Moné Hattori, violin

1999年生まれ。8歳でオーケストラと共演。10歳以降様々な国際コンクールで優勝やグランプリを受賞。11歳でミラノでのリサイタルを皮切りにウラディミール・アシュケナージとスイスイタリア公演、ハチャトゥリアン音楽祭、マリンスキー劇場などで演奏。2021年NHK交響楽団、パーヴォ・ヤルヴィと共演、翌年ドイツ・カンマーフィルと共演し大好評を博す。2022年から自身の企画コンサート「STORIA」を展開し日本での演奏機会に恵まれない名曲の普及にも意欲的に取り組んでいる。桐朋学園大学大学院修了。使用楽器は日本ヴァイオリンから特別貸与のガールネリ・デルジェス。



[管弦楽] 日本センチュリー交響楽団 Japan Century Symphony Orchestra 街に響く。心に届く。

1989年に発足、大阪府豊中市を拠点に活動するオーケストラ。2025年4月より久石譲が音楽監督に就任、名誉ミュージックアドバイザーに秋山和慶を擁す。ザ・シンフォニーホールでのシンフォニー定期演奏会、豊中市立文化芸術センターでの「豊中名曲シリーズ」を開催。教育プログラムや地域連携事業にも力を入れ、依頼公演、室内楽コンサート、アンサンブル等を合わせて年間200回を超える公演を行っている。飯森範親指揮「ハイドン交響曲集Vol.1」(他複数)等がレコード芸術特選盤に選出、大阪府文化祭奨励賞受賞(2015年度、2018年度)など、その高水準な演奏は高い評価を得ている。「伝統と革新～未来をつなぐ音楽を～」をスローガンに掲げ、音楽を通じて地域と未来を結ぶ架け橋として進化し続けることを目指す。2024年12月に楽団創立35周年を迎えた。



オフィシャル・ホームページ <https://www.jcso.or.jp>